

週報

令和 6 年 3 月 8 日

2023~2024年度 No.26

2023-24年度 国際ロータリーのテーマ

Rotary



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードンR.マッキナリー

プログラム

S A A 藤川 博士君

☆点 鐘

☆ロータリーソング斉唱

「我らの生業」

☆四つのテスト斉唱

☆食事懇談

☆会長の時間

☆幹事報告

☆委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

☆部内卓話

「IM出席報告」及び「水と衛生月間」

藤川 博士君

☆点 鐘

現在会員					30名					前々回の欠席者(2/9)					0名	
本 日	出席	21名			欠席	5名				免除(a)欠席	2名		出席率	80.77%		
									免除(b)欠席	2名						
前々回	出席	19名			MU	3名				免除(a)MU	2名		修正出席率	100%		
									免除(b)MU	3名						
月別出席率%		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
	本年度	77.26	83.66	87.66	84.78	89.40	90.22	92.55	95.45							
	前年度	82.97	81.16	84.53	81.69	91.84	91.44	90.16	93.48	96.87	83.80	85.93	89.39			

例会場
例 会
事務所
カンパーナホテル TEL(0959)72-8111
金曜日(12時30分~13時30分)
長崎県五島市末広町8-4
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 平 村 和 弘
副 会 長 山 里 一 郎
幹 事 松 岡 孝 博
雑誌:会報委員長 寺 澤 信 義

会長の時間

会長 平村 和弘君

それでは会長の時間を始めさせていただきます。

今回は昨年(2021)の7/28に引続き、ボクシングの井上尚弥選手についてお話しさせていただきます。前回はプロデビューからスーパーフライ級迄の事でしたが、本日はスーパーフライ級で7度のWBO王座防衛をした後の続き、バンタム級に階級を上げてからの話です。

2018年5月25日、WBAバンタム級レギュラー王者のジェイミー・マクドネルに挑戦しました。身長差で10cm、リーチ差で12cm上回っているマクドネルに対し、開始直後に左ボディが当たるとすぐさま攻勢を仕掛け、左ボディでダウンを奪い、その後もラッシュを仕掛け、初回1分52秒TKO勝ちを収め3階級制覇を達成しました。デビューから16戦目での3階級制覇は日本最速記録です。この試合での勝利がWBSS(ワールド・ボクシング・スーパー・シリーズ)参加の条件となりました。WBSSとは、その階級で誰が1番強いのかを競うものです。ボクシングでは主要団体が4つ(WBA, WBC, IBF, WBO)あり、それぞれにチャンピオンがいます。その4人の世界王者を含めた8名がトーナメント形式で対戦し、階級No.1を決めるというものです。

2018年10月7日、横浜アリーナでWBA世界バンタム級4位であり、元WBAバンタム級スーパー王者ファン・カルロス・パヤノとWBSS一回戦を行い、1R1分10秒KO勝ちを収め初防衛に成功し、WBSSの準決勝に進出しました。1分10秒の間に井上は合計3発しかパンチを放っておらず、井上の高速のワンツースがクリーンヒットしパヤノは後頭部から倒れ、パヤノの8年のプロ・キャリアで初めてのKO負けとなりました。この試合で井上は2018年度リングマガジン ノックアウト・オブ・ザ・イヤーを受賞しています。

2019年5月18日、イギリス・グラスゴーでWBSS準決勝として、IBFバンタム級王者エマヌエル・ロドリゲスと対戦。無敗の王者同士の対決で、この試合は事実上の決勝戦とされていましたが、井上が2Rに3回ダウンを奪い、2R1分19秒でTKO勝ちを収め、WBSS決勝戦への進出を決めると共に、WBA王座の2度目の防衛、並びにIBF王座及びリングマガジン王座獲得に成功しました。

2019年11月7日、さいたまスーパーアリーナで

行われたWBSSバンタム級決勝で、WBAバンタム級スーパー王者ノニト・ドネアと対戦。2Rにドネアの左フックを浴び、プロ・アマ通じて初めて右目上部をカットするとともに右目眼窩底と鼻を骨折。以降は、右目がぼやけてドネアが二重に見える苦戦を強いられます。9Rにはドネアの右ストレートを浴びてクリンチをする場面はあったものの、11Rに井上の左ボディによりドネアが下がるように歩いてから膝をついてダウン。そのまま判定となり3-0(116-111, 117-109, 114-113)の判定勝ちを収め、WBA王座の王座統一による3度目の防衛、IBF王座の初防衛に成功し、WBSSバンタム級初代王者に輝きました。

2020年4月25日、WBO王者のジョンリル・カシメロと統一戦を行う予定でしたが、コロナ禍により流れてしまいます。その後、防衛戦をラスベガスで2戦行いますが、どちらもKO、TKOで難なく防衛しています。

2022年6月7日、WBCバンタム級王者ノニト・ドネアと2年7か月振りの再戦となる三団体統一戦を、さいたまスーパーアリーナで行い、2R1分24秒TKO勝ちを収めました。

2022年12月13日、WBOバンタム級王者ポール・バトラーと対戦。終始ガードを固めながらサークルリングやバックステップを駆使してチャンスを窺うバトラーに、ノーガードや両腕を背中にまわすなど相手の攻撃を誘う場面を交えながら猛攻を仕掛けると、11Rに左右の連打から左ボディを浴びせてKO勝ちを収めました。ボクシング史上9人目、バンタム級及びアジア人として初の4団体統一王者となりました。

その後、スーパーバンタム級に階級を上げ、昨年は2団体の統一王者と2回対戦し、それぞれTKO、KOで下し、史上2人目の2階級4団体統一王者となっております。

今年の5月6日に、東京ドームで日本と因縁のあるルイス・ネリと防衛戦を行うことが先日発表されました。どのような試合になるか、楽しみにしたいと思います。以上で会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 松岡 孝博君

【当クラブ関係】

- ・明日3月9日(土)、先週の例会でお知らせしました福江RC杯五島市中学校軟式野球大会が

開催されます。時間が許される方は、御出席ください。グリーンジャンパー着用で9時に五島市中央公園野球場に集合です。

- 2023～2024 IMが3月3日14時より、平安閣サンプリエールで開催されました。出席された会員の方は、大変お疲れさまでした。後ほど藤川さんより報告があると思います。
- 本日の例会終了後、第5回60周年実行委員会が本例会場で開催されますので、実行委員の方は出席をお願いします。
- 観桜会が3月23日昼の12時より、鬼岳桜園で開催されます。(今年の観桜会と同じ場所) 内容の方は、後ほど親睦委員会の有川さんよりお知らせがあります。

【地区関係】

- 2023～2024年度インター・シティ・ミーティング終了の御礼状が、ガバナー事務所より届いています。

【その他】

- 3月のロータリーレートは1ドル151円です。

委員会報告

出席報告

- ◆ 3月8日 (欠席者メイクアップ)
片山 雅文君 中村 栄治君
- ◆ 3月8日 (免除(a)欠席者)
植松 郁雄君 中村 博義君
- ◆ 3月8日 (免除(b)欠席者)
佐々野邦久君 吉田 泰之君
- ◆ 3月8日欠席者
小畑 和男君 坂井 成光君 橋本 武敏君
宮脇 秀至君 森 正明君

親睦委員会

スマイル報告

- ◇ 藤川 博士君 本日の卓話のご静聴よろしくお願ひします。
- ◇ 平村 和弘君 先日の長崎市で行われました、IM大会お疲れ様でした。
- ◇ 松岡 孝博君 //

- ◇ 張本 民雄君 //
- ◇ 山里 一郎君 藤川博士さん、本日の「IM出席報告」と「水と衛生月間卓話」よろしくお願ひします。
- ◇ 清瀧 誠司君 //
- ◇ 戸田 博之君 //
- ◇ 山下 実君 //
- ◇ 柳田 靖夫君 //
- ◇ 神之浦文彦君 //
- ◇ 山下 克己君 //
- ◇ 三村 剛孝君 //
- ◇ 寺澤 信義君 //
- ◇ 有川 真史君 //
- ◇ 才津 喜彦君 //
- ◇ 西上裕一郎君 //
- ◇ 市村 篤史君 //
- ◇ 野崎 薫君 //

合計 18,000円

通算合計 481,000円

部内卓話

「IM出席報告」及び「水と衛生月間」

藤川 博士君



皆さんこんにちは。まずは、先週開催されましたインター・シティ・ミーティングに参加してきましたので報告をさせていただきます。

2023～2024年度国際ロータリー第2740地区第9・10グループのIMは、3月3日(日)に平安閣サンプリエールにおいて開催され、当クラブからも11名参加してきました。

第1部の式典は、14時に長崎東RCの大倉さんの司会でスタートしました。さすが、元NBCのアナウンサーだけあって、滑舌の良さと声の通りはすばらしく、自分もこれだけ話せたらと思いました。

ホストクラブ中島会長の点鐘後、「君が代」「奉仕の理想」斉唱、柿川実行委員長による歓迎の言

葉と続き、緒方第2740地区ガバナーより挨拶の後、基調講演に入りました。

基調講演は「変えてはならないロータリー・変えなければならないロータリー」と題し、四宮孝郎2023～2024年度国際ロータリー会長代理により貴重な話を聞くことができました。

四宮さんは、シカゴの国際ロータリー本部で約1週間の研究セミナーに参加後、直接、長崎に入られたとの事でした。本部ビルは18階建ての立派な建物で、約550名のスタッフが働いているそうです。全世界で国際ロータリーのスタッフが800名近くいるが、残りの250名はどこにいるのか。例えば、東京の日本事務局に約20名以上の方が働いているそうです。驚きは、550名の半数以上が女性で、非常に優秀で精力的に働いているそうです。

現在、ロータリーは220以上の国と地域で存在しており。ロータリーの誕生は、1905年2月23日で119歳になります。全世界で100年以上過ぎている企業は8万社以上あります。日本では8万3千社、長崎で384社が100年企業になっています。

たった4人で始まったロータリーが119年経ち、変えてはならないもの、変わらないものは中核的価値観（奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ）と四つのテストの二つは変わらない。一方、変えていかなければならないことは世界で新会員は毎年15万人が入ってくるが、残念なことに毎年15万人が退会されており、入会して1年未満で辞められる方が10%、3年未満で辞められる方が48%だそうです。なぜ辞められたのか、一番の原因は寂しさで、寂しさからくるストレスは、たばこの害よりひどいと言われているそうです。それを何とか防がないといけないが、そのためにはどうしたら良いか。四宮さんは、ロータリーの魅力が減少しているのではと持っているとの事でした。

ロータリーでは多様性というのが叫ばれており、多様性の中でも一番言われているのがクラブの多様化で、世界ではいろんなタイプのクラブが生まれてきており、ユニークなクラブとして、あることに特化したクラブがあり、例えば環境問題だけ扱うクラブその他はやらない等、昔は各クラブが5大奉仕とか全部やっていきましょうと言っていたが、何か一つ子供食堂やろうとか、少年野球を応援しようとか、一つに特化してやることも方法かもしれないと仰っていました。次世代のガバナー像はという質問に対しては、国際ロータリーの会員数は140万人、日本の会員数は8.5万人、でも

財団に対する寄付額はアメリカに次いで2番目か3番目で日本の存在感はものすごく大きい、日本人のRI会長は102年の間に3人しか出ていない。原因の一つは、日本人ガバナーの高齢化、ガバナーをやるにはクラブ会長をしなければならない、会長になる時に日本のクラブは保守的で会長になる時には年齢は高くなっている。ガバナーになる時には更に高くなっている。日本のロータリーを背負っていくためにも、若い方がどんどんガバナーになってほしいし、その前に経験がなくても若くてもクラブ会長になってほしいとの事でした。

次に、記念講演として「逆境をチカラに変える～小さな積み重ねと感謝の習慣～」と題して、シーズアスリート所属、ゴールボールシニアアドバイザーの浦田理恵さんにより、感動と前向きな気持ちになる話を聞くことができました。浦田さんは1977年熊本県に生まれ、教師を目指していた20歳の時に急激に視力が低下し、網膜色素変性症と診断され、現在、左目の視力はなく、右目も99%以上の視野が欠損し全盲に近い状態だそうです。国立福岡視力障害センターに入所し、ご自身の人生を変えたゴールボールと出会い競技を始め、2008北京パラリンピック初出場を機に4大会連続でパラリンピックに出場、2012年ロンドンパラリンピックでは金メダルを獲得、東京2020パラリンピックでは日本代表チームの守りの要として活躍し、銅メダルを獲得されました。また、東京2020パラリンピック日本代表選手団の副主将に抜擢され、開会式では車いすテニスの国枝選手とともに選手宣誓を務められました。実際にメダルを持参されており、重さは435グラムで結構ずしっとしているそうです。パラリンピックのメダルには全ての競技で点字があるそうですが、東京の銅メダルには特徴があって側面の上には穴が3個開いており、穴の数が3個だから銅メダルとわかるようなユニバーサルデザインになっているそうです。

講演は、「皆さま全員目を閉じてください。私か良いですよと言うまで目は閉じたままでいてください。」から始まりました。目を閉じていると「ドンドンと足の音やボールの音、日本ゴールボール女子初出場で銅メダル獲得の声等」浦田さんは、それをテレビのニュースで見えており、目が見えないのに球技やれるんだ、自分もあんな風に輝きたいな。これがゴールボールとの初めての出会いだったそうです。会場の皆さんへ、ゴールボールというスポーツを知っている人は手を叩いて教えてください。逆に知らないという方、手を叩いて教えてください。という声を聴き、私は知ってしまし

たが、半数以上の方が知らないようでした。では、皆さま目を開けてくださいの声がかかり、今、皆さまが感じていただいた見えない世界の音、これが、私が普段見て感じている世界で、ほぼ全盲ですが目は開いているし声や音がしたら、振り向き、割と自由に動いてステージから落ちないし「本当は見えとっちゃない？」とよく言われるそうです。すると突然、ステージからヒールを履いているのにぴょんと飛び降り、会場からどよめきが起きました。

講演が始まる前の休憩時間に、浦田さんと事務局スタッフの方が入念に歩いて話をしていたのですが、それは「環境認知」をしていたそうです。演壇の位置、ステージの幅等、歩幅が75センチで4歩歩くと3メートルで、ステージの端とか自分の歩幅をコントロールして足を出す角度とかを合わせながら「環境認知」をして、頭の中でイメージし自由に動くことができるようになるそうです。

人間は情報の83%を視覚から得ているが、自分はその83%はないんです。ないけど、まだ持っているものが17%もある、周りのサポートがあれば17%はいくらでも100%に近づけることができるし、見えないというのは、自分かやりたいものや夢を諦める理由には全然ならないとの事でした。

それでも20歳の頃、だんだん目が見えなくなっていったが、周りの友人や先生に言えず、見えるふりをしていたそうです。皆が、当たり前に出てくる自分が出来なくなっている。こんな自分は劣っている、皆にバカにされるんじゃないかと怖くて言えなかったそうです。それと、一番言わなければいけない大事な両親にも言えなかったそうです。しかし、22歳の正月に久しぶりに熊本へ帰り伝えたそうですが、駅の改札に迎えに来てくれた母の姿も見えなかったので、もっと早く言っておけば良かった、もう少し見えた時に言っておけば良かったと後悔したそうです。お母さんは、改札の前でひとしきり泣いた後、「大丈夫よ目が見えなくても、できること探していこう。一人じゃないけん、大丈夫よ」と支えてくれたそうです。両親に伝えられた事で、深い霧の中にいたのが少しずつ開けていくような感覚があったそうです。

家族なんて空気みたいな存在で、居て当たり前、やってもらって当たり前、働く場所がある、会社がある、一緒に働ける仲間がいる、普段自分が何気なく会っている人達、何気なくやってもらっている事、そして何気なく使っている手とか足とか耳とか全部です。その全部が、日常の生活に慣れすぎていて、自分はそこに「ありがとう」を失っ

ていたそうです。だけど、目が見えなくなって本当に一人じゃどうしようもなくなった時、ひしひしと感じたそうです。誰かがそばにいてくれる、ただそれだけで、どれだけ自分が日頃から支えられているのか、励まされているのか、なんて恵まれているのだろうと。だから、日常生活は目が見えなくなって不便にはなったけど、生きていく上で大切なことに気づかせてもらったそうです。それが感謝の気持ちを持つことで、「当たり前」の反対は、ありがたし「ありがとう」です。そこから家族の支え、周りの支えがあって、自分のできることを頑張っていこうと思えるようになってきたとの事でした。

もう少し話たいんですが、最後に印象に残った言葉を二つ紹介します。

一つ目は、「チャレンジの先にあるのは、成功か失敗かじゃなく、成功するか成長するか、もしくはそのどちらかです。」失敗はその過程にあるもの、あって良いんです。見えないことを盾にして、どれだけ自分が甘えていたか、考え方一つで自分は変わったそうです。

二つ目は、浦田さんが好きなマザー・テレサの言葉です。「思考には気をつけなさい、その思考はいつか言葉になるから。言葉には気をつけなさい、それはいつか行動になるから。行動には気をつけなさい、それはいつか習慣になるから。習慣には気をつけなさい、それはいつかあなたの性格になるから。性格には気をつけなさい、それはいつかあなたの運命になるから。」自分の運命・人生は、自分の思考・心持ちひとつでどれだけでも変えることができるし、性格なんて変わらないとかそんなことはなく、自分が決めているだけなんです。前向きに心持ちが変わったら、神様は大きなプレゼントをくれました。それが自分の人生を大きく変えてくれた、ゴールボールというスポーツだったとの事でした。

ゴールボール日本代表チームは男女ともに、今年8月から開催されるパリ2024パラリンピックへの出場が決定しています。ぜひ、皆さんも応援していただければと思います。

終わりに、中島ホストクラブ会長の点鐘で第一部を終了しました。

第二部の懇親会は、会場を3階に移動し行われました。余興では大村出身「タナカ ハルナ」ライブも行われ盛り上がりました。当クラブの二次会の報告は割愛しますが、長崎の街を堪能し、親睦を深めることができたと思います。また、今回のIMで多くの事を学ぶことができたと思って

います。



2024年3月3日 IM 於 平安閣サンプリエール

続きまして、「水と衛生月間」についてお話しします。

ロータリークラブ初の奉仕活動は、アメリカ・シカゴ市への公衆トイレの寄贈でした。日本のロータリークラブも、ニーズのある国や地域にトイレを設置し衛生問題の改善に貢献していますが、各地の取り巻く環境を調査していくと、課題はまだ山積しています。トイレ環境最先端に行く日本にいと、なかなか見えてこないのではと思います。

国ごとのある地域でのトイレの普及率を見ると、タイやカンボジアでは25～50%、ウガンダやトーゴでは0～25%、フィリピンでは50～75%です。

ロータリークラブは、毎年3月を「水と衛生月間」として、この活動に特に力を入れています。この月間は、2014年にロータリー国際理事会が制定しました。この月間には、ロータリークラブが水と衛生に関するプロジェクトやイベントを開催したり、募金活動を行ったり、啓発活動を行ったりしています。また、ロータリー財団や米国国際開発庁（USAID）などのパートナーと協力して、水と衛生に関する長期的なプログラムを実施しています。

ロータリークラブの水と衛生月間は、世界に変化をもたらすための重要な取り組みの一つです。また、水と衛生はロータリークラブの他の重点分野である疾病との闘い、平和の推進、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展、環境の保護とも密接に関係しており、水と衛生に関する活動を通じて、これらの分野にも貢献しています。

ロータリークラブは、世界中で水と衛生に関する重要な活動を行っていますが、その活動は単に井戸を掘るだけではなく、安全な水と衛生設備を提供した上で、衛生や伝染病予防に関する教育も行うことでコミュニティ全体の生活を改善し、

子どもの通学率を高めています。

水と衛生月間の主な目的は、

- 地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善、持続可能な水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理を地域住民が行っていくための能力向上を支援する。
- 水と衛生の重要性について、地域住民の認識を高めるための教育や啓発活動を行う。
- 水と衛生に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金や研修を提供することです。

具体的な活動例として、例えば、

- パプアニューギニア：地元の団体と協力し、4,000人の人たちが利用できる雨水貯水タンクと配水センターを設置。また、地元の女性や35校の学生に研修も提供しました。
- グアテマラ：Escuintla（エスキントラ）という町にある10校に通う1,793人の子どもたちのために、トイレ、手洗い場、貯水タンク、研修を提供しました。
- タンザニア：12のクラブが地元のパートナーと協力し、キゴゴ村の1,500人の住民のために、水の供給システムを設置しました。また、システムの維持方法と衛生教育を地元住民に提供しました。
- フィリピン：ロータリークラブとパートナー団体が、222のトイレ、6つの雨水集水機、7つの公衆手洗い場、20のバイオ・サンド・フィルターを設置しました。このプロジェクトによって、1,000人以上の人たちがトイレ施設を利用できるようになったほか、約600人に安全な水を常時届けられるようになりました。

これらの活動は、地域社会のニーズに対応し、持続可能なプロジェクトを行うために地元の専門家と協力するロータリーの会員によって行われています。地域社会の参加が必要とされ、地域社会の人びとが自力で継続していかなければ、そのプロジェクトは成功したとは言えないとされています。

以上が、ロータリークラブの水と衛生に関する活動です。ロータリークラブは、地球上のすべての人々が安全な水と衛生設備を利用できるようにするために、世界中で様々な活動を行っています。

日本のトイレは、約8割が温水洗浄便座完備で清潔で快適という、トイレ先進国です。なかなか日本にいと海外の事情は分かりませんが、私もこの活動を通じて何か貢献していければと思います。

本日は、ご清聴ありがとうございました。